

## 内科（呼吸器内科）

連携基幹病院数	3 施設	
連携基幹病院名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金沢大学附属病院</li> <li>・ 金沢医科大学病院</li> <li>・ 公立能登総合病院</li> </ul>	
指導医 計： 3名 ◎指導責任者	氏名	専門
	◎松沼 亮	呼吸器一般、呼吸器内視鏡、緩和ケア
	寺田七朗	呼吸器一般、呼吸器腫瘍
	小川尚彦	呼吸器一般
指導責任者紹介	日本内科学会認定医・指導医、 日本呼吸器学会呼吸器専門医、呼吸器内視鏡専門医	
専門医数	1 名	
疾患の比率 (総計 100%)	肺癌：36%、肺炎：35%、間質性肺炎：5%、COPD・喘息：4%、抗酸菌感染症：1%、 その他（睡眠障害、サルコイドーシス、肺胞蛋白症等）19%	
病床・患者数	病床数 全体 426 床 内科病床 110 床 化学療法 約 159 件/年（外来のみ） 気管支鏡件数 68 例 年間外来患者数 約 8851 名 年間新入院患者数 約 543 名（総入院患者数内訳：肺癌 218 名、COPD・肺炎 211 名、間質性肺炎 30 名、喘息 24 名、抗酸菌感染症 5 名、その他（睡眠障害、サルコイドーシス、肺胞蛋白症等）118 名）	
研修の特徴	<p>当院は能登地区で数少ない呼吸器専門医のいる病院であり、幅広い呼吸器疾患が集まります。肺癌、COPD、喘息などの common な疾患だけでなく、肺胞蛋白症などの稀な症例も経験することができます。</p> <p>救急を積極的に受け入れており、他院からの呼吸器疾患の紹介も多く、人工呼吸が必要な急性期から、慢性呼吸不全、肺癌の終末期などの慢性期の診療も可能です。</p> <p>緩和医療に関しては、緩和医療科の医師と連携して診療が可能です。</p> <p>肺癌の治療に関しては化学療法、放射線治療は当院で行います。外科的治療に関しては金沢医科大学と連携して行っております。</p> <p>週 1 回の初診外来、再診外来が必須であり、外来診療を通して肺癌の外来化学療法、気管支喘息、COPD、間質性肺炎、睡眠時無呼吸症候群などの慢性呼吸器疾患のマネジメントを研修してもらいます。必要に応じて指導医がバックアップします。</p> <p>気管支鏡は年間 68 例あり、経気管支的肺生検、気管支肺胞洗浄など十分に経験することができます。</p> <p>金沢大学の大学院に入学し、当院で臨床を行いながら、週 1 回の帰学日に大学で研究を継続することも可能です。</p> <p>臨床研究を積極的に行います。発表だけでなく、論文の作成も行ってもらいます。</p> <p>内科医として呼吸器疾患以外の疾患をみる機会も多く、また毎朝内科全体でカンファレンスがあり、他臓器の専門医に容易に相談できる環境でもあることから、</p>	

	<p>内科医としての総合力を鍛えることが可能です。</p> <p>休日・夜間は当番制としており、休息・研究にあてる時間の確保に努めております。</p>
臨床研修 の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肺癌、間質性肺炎、肺炎、COPD・喘息などの入院管理（受け持ち 10-15 人）</li> <li>・ 初診外来 1 回、再診外来 1 回（外来化学療法も含む）</li> <li>・ 気管支鏡週 2 回</li> <li>・ 内科カンファレンス（週 5 回）、呼吸器カンファレンス（週 4 回）</li> <li>・ 希望者には金沢大学大学院での研究（週 1 回）</li> <li>・ 地方会、総会での発表、論文作成</li> <li>・ 初期研修医の指導をしてもらうことがあります。</li> <li>・ すべて指導医の指導の下診療を行います。</li> <li>・ 学会報告や臨床研究を行い、論文発表を行う。</li> </ul>
単年度専攻医 受け入れ可能 人数	1~2 名